

はばたき

2018.3
第30号

明日へ！帆に新しい風を
男女いきいき蒲郡

特集

LGBT～多様な性について～

人権擁護講座「LGBT 理解講座」

男女共同参画推進事業報告

(平成29年度)

デートDV防止講座

男女共同参画市民提案型協働委託事業

「パートナーと楽しむ
お手軽おうちごはん」

婚活応援事業

男女共同参画講演会

女性の活躍促進宣言

男女共同参画啓発事業

川柳・ポストカード・習字の入賞作品決定!



放送作家の鈴木おさむさんをお招きして、男女共同参画講演会を開催しました。

LGBT～多様な性について～



性の多様性とは？

人間の性は男性、女性の2つだけではありません。人間の性のあり方はもっと多様で複雑です。私たちのセクシュアリティ(性のあり方)について大きく下記の3つの要素があります。

身体の性

生物学的な性別

心の性 (性自認)

自分と認識する性別

好きになる性 (性指向)

自分が惹かれる性別

1. **身体 の 性**：身体的特徴として、「男性」「女性」を区別するもの
2. **心 の 性**：身体的特徴とは関係なく、自分が「男性」「女性」どちらの性に属しているかという感覚を指します。
3. **好きになる性**：恋愛対象となる「性」のことです。
【異性愛】【同性愛】【両性愛】に分類されます。

上記3つの性を組み合わせると、12通りの人が存在することになります。また、性の要素は、服装や立ち振る舞いなど見た目の性別(性表現)を加えて4つの要素で考える場合もあります。

近年、テレビでカミングアウトしている芸能人を、みなさんはご存知だと思いますが、このように、LGBTは「決して珍しくない」。病気ではなく、「個性」であることが理解できます。



知っていきましょかLGBT

- L レズビアン(同性を好きになる女性)
- G ゲイ(同性を好きになる男性)
- B バイセクシャル(両方の性を好きになる人)
- T トランスジェンダー(身体の性と心の性が異なる人)



LGBT(性的マイノリティー)とは「レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダー」の頭文字を組み合わせたものです。これらは社会的・文化的に性的少数者といわれる人たちのことです。

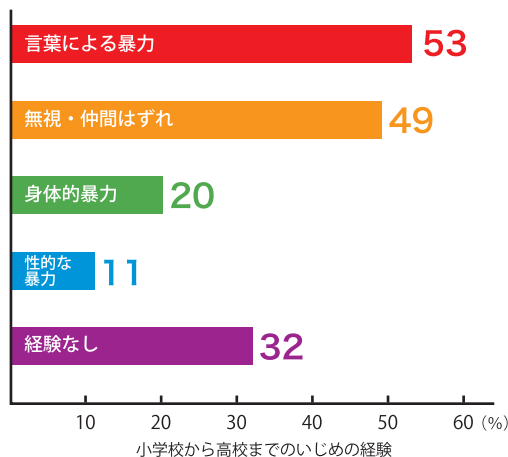
「恋愛対象」というと、異性を対象として好きになるのは当然であると思っている方が多いのではないのでしょうか？しかしながら、生まれながらにして「自分は同性が好きである」あるいは「同性、異性の両方が好きである」など、さまざまな認識をする人がいます。また、自分の体の性と、自分の認識している性が一致しないような感覚を持つ人、自分がどちらの性なのか区別がしきれない人も存在しています。

※日本国内では、約7.6%⇒13人に1人 LGBTに該当している人がいます。



教育／学校生活における問題

友達をつくり、学ぶための場所である学校は、LGBTにとってつらく苦しい場所になることがあります。性の多様性について学ぶ機会が少ないために、学校が男らしく女らしくふるまえない友達を笑い、からかいの場になってしまうことがあります。実際に、右のグラフにも示されているように、約7割のLGBTが学校で、精神的・身体的・性的な暴力の経験をしています。





LGBTの人たちにどうすればいい？



アライになること

アライとはLGBT当事者を理解し、支援する方を指す言葉です。アライになるには、資格や特別な勉強は必要ありません。みなさんが自覚し、活動した時点で誰もがアライになれます。われわれと同様に、個性のある人間として認めることが大切です。

カミングアウトされたら

カミングアウトとは、これまで秘密にしていた自分のセクシュアリティを誰かに打ち明けることです。当事者にとって、とても勇気がいることです。もし、カミングアウトを受けたら、まずは「この人は、私に大切なことを伝えてくれたんだ」と思うこと。カミングアウトをしているのは、あなたを含め、一部の人のみかもしれません。どの程度オープンにしてよいかを、当事者と話し合うことが大切です。

虹色のシンボルカラーを身につける

赤、橙、黄、緑、青、紫の6色で塗り分けされた虹色の旗は、多様性を表すLGBTのシンボルとして、世界中で使われています。どのような形でも、虹色の物を身につけていることで、LGBT当事者たちが理解者の存在を知り、安心感をもつことでしょう。



人権擁護講座 「多様な性について考える～LGBT理解講座」

12月7日(木)

蒲郡高等学校教師等を対象に、特定非営利活動法人ASTAの共同代表松岡さんとLGBT当事者で現役中学校教諭の方にLGBTとは何か？性のあり方、当事者の経験をお話していただきました。当事者には、周りの人たちは「差別をしてはいけない」こと、本当に大切なのは性別や国籍、身体的特徴ではなく、人格や人柄であることを教えていただきました。

また、当事者のいじめや自己否定などの多くの問題があり、そのことを改善するため、少しでも多くの理解者を増やすことが必要であることや、当事者を受け入れる姿勢については、「ありのままの自分でいいんだよ」と寄り添える立場になることが大切であることを学びました。

参加者コメント

「今まで特殊なことと捉えていたが、性のあり方に違和感のないよう、自分も理解を深めたいと思った。」

「子どもにカミングアウト相談をしてもいいと、信頼される教員でありたいと思いました。」



約60名の先生方が熱心に聞き入っていました。

～LGBT 相談機関の紹介～

よりそいホットライン

0120-279-338 24時間通話無料 ※ガイダンスの後、4番を選ぶとLGBTに関する専門回線につながります。

AGP (同性愛者医療・福祉・教育・カウンセリング専門家会議) 電話相談

050-5539-0246 「こころの相談」毎週火曜 20時～22時 / 「からだの相談」第1水曜21時～23時

レインボーホットライン

0120-51-9181 毎週月曜 19時～22時

QWRC 電話相談

06-6585-0751 第1月曜日 19時半～22時半

デート DV 防止講座

三谷水産高校・蒲郡高校にて開催

12月6日(水)には、三谷水産高等学校の全校生徒約450人を対象に、12月11日(月)に蒲郡高等学校の全校生徒約720人を対象に、「デートDV防止講座」を実施しました。“お互いを尊重する関係でつきあおう”と題して、若い恋人同士の間におこる暴力=異性と話すことを許さない、携帯を勝手にチェックする、傷つく言葉を平気で言う等、とても身近な出来事がデートDVということをお話していただきました。1人で悩まず周囲へ相談することの重要性と暴力を認めない、許さない意識を持つこと、さらには友達間でもお互いを尊重することの大切さについてお話しをしていただきました。



【生徒の感想】

- ・デートDVは身近に起こる出来事だと知りました。(蒲郡高校1年)
- ・とてもためになりました。お互いを尊重できる関係を築きたいと思いました。(蒲郡高校2年)
- ・相手の気持ちを考え、付き合うことが大切だと思いました。(水産高校2年)
- ・デートDVは男性から女性へのDVだけでなく、女性から男性にもある事を知り、怖いと思いました。(水産高校1年)

パートナーと楽しむ お手軽おうちごはん

企画・運営 蒲郡にじの会 サラプラザ蒲郡にて開催

講座のメニュー

◆きのこのクリームソースのオムライス、キヌアスープ

近年、家庭内で家事・育児を積極的に行う男性は増えているものの、家庭での食事作りは未だ女性が主になっているようです。そこで、10月1日(日)に男性の食事作りによる家庭参画を推進するため、「男性のための料理講座」を開催しました。男性には主に調理を、女性には家庭での役割分担、男女共同参画について蒲郡にじの会がレクチャーを行い、協力することの大切さを話しました。地元竹本油脂の太白ごま油を使って、夫婦でオムライス作りを楽しんでいただきました。



夫が作り、妻が手伝いました。

蒲郡にじの会

今回の講座によって、男女共同参画の大事さを知ってもらい、年代を超えて男女が協力しあえる社会の推進に力をいれていきたい。

参加者コメント

「託児があったので、二人の時間を楽しめたのでまた一緒に参加したい。」
「食事作りは妻まかせだったが、これからは自分も料理をしてみようと思いました。」
「家事や育児について、妻に感謝したいと思いました。」

婚活応援事業

「魅力アップ講座」 10月28日(土)

男女別れて、魅力をアップする方法を指導いただきました。男性は、エクシオジャパンの吉戸留奈さんが講師で、「相手に好印象を与える身だしなみとマナー」と題して第一印象の重要性や自己紹介における気をつけたいことを教えていただきました。女性の講師は、メナード化粧品の金原郁保さん。好感をもたれるメイク方法と雰囲気作りを伝授していただきました。

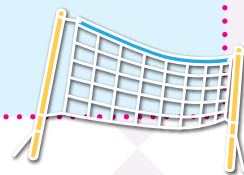
「蒲郡de恋活」 11月12日(日)

松風園での婚活パーティーは、蒲郡温泉郷こはぜの会の女将さんたちのサポートを得ながら、ローズウィンドウ作りやランチ、おしゃべりして交流を楽しんでいました。3組のカップル誕生!



「スポーツ婚活」 11月26日(日)

バルーンバレーボールで、身体を動かしたことで緊張もほぐれフリータイムではリラックスした様子で、楽しい時間を過ごしていました。6組のカップル誕生!



男女共同参画講演会

「楽しい家族になるために男性ができること」

平成30年1月21日(日)

放送作家でお笑いトリオ森三中の大島美幸さんと結婚した鈴木おさむさんをお招きして、結婚から出産、家事・育児において、男性は何ができるのかをご講演いただきました。

鈴木さんが大島さんと出会ったのは、後輩の芸人仲間を通しての飲み会でした。礼儀正しくちゃんとしていた大島さんに、鈴木さんはアドレナリンが出て後頭部が熱くなり、「結婚しよう」と言葉が出たそうです。結婚後、妻の二度の流産を経験し、赤ちゃんを授かる事の難しさを痛感したそうです。美幸さんは仕事を休業し、妊活に取り組み2015年に第一子が誕生しました。夫として何かしなければいけないと思った鈴木さんは、妻が健康で育児ができる環境が大事だと考え、育児休暇を取得し、料理のアシストに専念しました。

子どもが生まれた瞬間は、父親になるチャンスと考え、ともに過ごすことで友情と信頼も生まれるなど、経験をもとにアドバイスをしていただきました。



育児で子どもと友情が芽生えたと語る鈴木さん

女性の活躍促進宣言企業

女性の活躍促進宣言企業とは、2016年4月に「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」が全面施行され、働くことを希望する女性が能力を十分発揮できるよう、女性の活躍推進に向けた取組を宣言する企業のことをいいます。女性が働きやすい職場環境にするため、女性従業員の声を多く拾い上げ、制度の導入、採用目標など企業、団体がそれぞれの状況に応じて取組を行っています。蒲郡市内では下記の企業が女性の活躍促進宣言をしています。



- ・小池商事株式会社 ・蒲郡商工会議所 ・蒲郡信用金庫 ・株式会社金トビ志賀 ★株式会社ニデック
- ・株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング ・特定非営利活動法人楽笑 ・株式会社千賀屋
- ・有限会社ハッピーワークス ★株式会社ミスコンシャス ・株式会社ラグーナテンボス
- ・ゼロスタイルジャパン株式会社

★=あいち女性輝きカンパニー認証(有効期限3年)も受けている事業所(平成30年1月15日現在)

男女共同参画啓発 川柳・ポストカード・習字

入賞
作品

蒲郡市では男女共同参画への意識向上と理解促進のために、川柳、ポストカード及び習字を募集したところ、市内外より多くのご応募をいただきました。

選考の結果、各部門の入賞作品が決定し、それぞれ賞状と記念品を授与しました。



最優秀賞 市川心琴さん

習字の部



最優秀賞 畠山彩楽さん

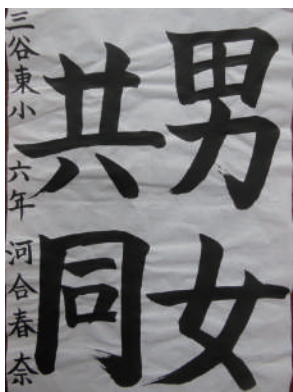
ポストカードの部



優秀賞 小石川柚葉さん



優秀賞 鈴木彩夏さん



優秀賞 河合春奈さん



優秀賞 大場有紗さん

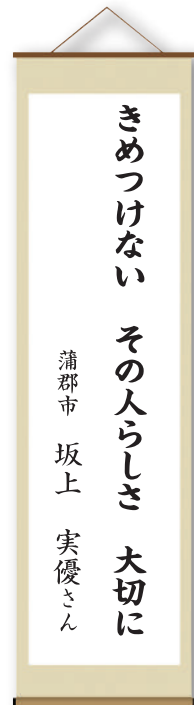
川柳の部

一般の部 最優秀賞



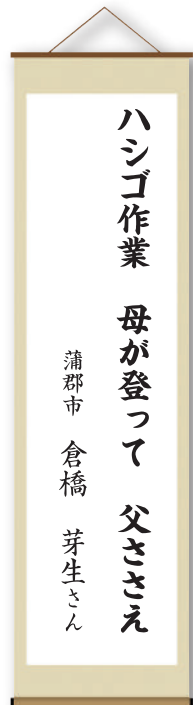
京都府京都市 鈴木 恵美さん

小学生の部 最優秀賞



蒲郡市 坂上 実優さん

中学生の部 最優秀賞



蒲郡市 倉橋 芽生さん